

# 介助する方用 取扱説明書

座位保持装置用屋外車輪付構造フレーム



## 取扱説明書



※本書は基本的なバケットシーティングシステム及びフォームシーティングシステムにのみ対応しております

このたびは座位保持装置用屋外車輪付構造フレーム「NINFA」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かし、かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。その後、大切に保管し、必要に応じてくりかえしお読み下さい。

尚、オプション、特注品など本書の説明と製品の仕様が異なっていて、正しい取扱方法がわからない場合は、弊社までお問い合わせ下さい。(詳しくは本書最終ページをご参照下さい)

川村義肢株式会社

製品に関するお問い合わせは本取扱説明書最終ページをご参照下さい。

転載複写厳禁

# もくじ

---

1. 安全にご使用いただくために	3～4
2. 各部の名称	5
3. 仕様	6
4. ご購入後の点検・準備	6
5. NINFA使用方法	
バケット本体をNINFAへ取り付ける方法	7～8
フォーム本体をNINFAへ取り付ける方法	9～10
ティルトの操作方法	11
ブレーキのかけ方	11
NINFAの折りたたみ方	12
NINFAの開き方	13
段差での走行方法	14
坂道での押し方	14
傾いた道での押し方	15
溝越え	15
階段の上り下り	15
6. 日常のお手入れ・保管方法	16
7. 廃棄方法	16
8. 保証書	17～18

## NINFAについて

NINFAとはイタリア語で“妖精”を意味します。このNINFAに関係される使用者の方々(乗車者、介助者、医療スタッフなど)の願いをかなえてくれる妖精のような存在になって欲しいという気持ちから生まれた名前です。

今までのバケットシーティングシステムの屋外用車いすが今回新しく生まれ変わりました。この車いすは様々な座位保持装置と組み合わせることができ、弊社の川村バケットシーティングシステムやスポンジのいすなどを、屋外でも使用できる車いすタイプにすることができます。

また標準色はガンメタリックですが、特別色(有料オプション)も用意しており、皆様に好きな色を選んでいただくことも可能です。

またオプションとして人工呼吸器を載せる台やアームサポート、ボンベ架、カゴ、泥よけ、日除けをつけることが可能です。そのように幅広く、いろいろな場面で使用できる多機能な車いすフレームです。

# 1. 安全にご使用いただくために



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 本製品を医師や弊社(本書の裏面参照)に無断で分解・改造しないで下さい。破損したり、乗車者が怪我をする恐れがあります。
- 必ず医師の指示に従って使用して下さい。
- 本書の安全に関する指示事項には必ず従って下さい。(本書に規定した方法以外の使い方はしないで下さい)
- 本製品は間違った方法で使用すると使用中に不具合、傷害を生ずる恐れがあります。
- 本製品をご使用になる方は「使用方法」や「取扱注意事項」が理解できるまで本製品を使用しないで下さい。また本書を手元に保管し、必要に応じて繰り返し読んで下さい。本書を紛失又は損傷した場合は、速やかに弊社までご連絡下さい。
- 本製品に破損・異常が発生していないか、ご使用前には必ず各部を点検して下さい。万一、破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社までご連絡下さい。
- 本製品を他の方に転用(再利用)された場合の事故等につきましては責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 介助者はバケット・フォーム本体が本フレームに固定されているかどうか確認して下さい。固定が不完全なままで使用すると、バケット・フォーム本体がフレームから外れてケガをする恐れがあります。
- 自動車内でのご使用はおやめ下さい。
- 本製品は衝突や事故などから乗車者を守るためのものではありません。
- 移動している時以外は必ず左右共フットブレーキやタッグルブレーキをロックさせて下さい。ロックさせていないと意図せぬ時に動き出し、怪我をする恐れがあります。
- 保守点検は1日1回使用前に介助者が必ず行って下さい。また、保守点検を行っていない場合は使用しないで下さい。
- 急ブレーキをかけないで下さい。落下・転倒事故をおこす恐れがあります。
- 坂道を前進で下ると乗車者が前方へ転落したり、前方へすべったりして大変危険です。
- 交差点や踏切では特に注意して下さい。
- 必ず4名以上の方で車いすフレームの所定の部位を持って下さい。階段から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- バケット・フォーム本体を持つ場合は、2人で作業を行って下さい。落下してけがをすることがあります。
- 本体の調整(ティルトなど)をする場合は確認しながら行って下さい。ティルトレバーを握っている間(角度調整している間)は、手押しハンドルを両手でしっかりと押さえて下さい。指を挟んだり、乗車者が落下することがあります。
- 直射日光のある場所や炎天下の車内に長時間放置したり、熱器具(ストーブ等)の近くで使用しないで下さい。熱により変色や変形する恐れがあります。また本体が熱くなり火傷する恐れがあります。
- メカニカルロックの側面から力を加えないで下さい。破損する恐れがあります。
- フット・レッグサポートの上に立たないで下さい。転倒する恐れがあります。
- 座面の上に立たないで下さい。ぐらついて転倒する恐れがあります。
- 踏台や脚立のかわりに使用しないで下さい。転倒する恐れがあります。
- 手押しハンドルに荷物などをぶら下げないで下さい。後方に転倒する恐れがあります。
- 身体を乗り出すなどして、安定性を損なうことのないようにして下さい。車いすと転倒する恐れがあります。
- 乗車者をバケット・フォーム本体に座らせた状態で本フレームに取り付けたり、外したりしないで下さい。
- 介助者はバケットシート本体を本フレームに取り付け又は外す時には、指をはさんだり、ケガをしないよう、十分気をつけて行って下さい。
- T字金具の固定力が不完全ですと、NINFAからバケットシート本体が外れる場合があり危険です。
- NINFAを折りたたむ時に指をはさんだり、ケガをしないよう十分気をつけて行って下さい。
- NINFAを開く時に指をはさんだり、ケガをしないよう十分気をつけて行って下さい。
- グリップを下に引く動作と、ティッピングレバーを踏む動作は必ず同時にやって下さい。どちらか一方のみの動作の場合、キャスターが持ち上がりなから車いすフレームが破損する恐れがあります。
- NINFAを使用するときは、必ず介助者がそばにいて下さい。使用時、複数のお子さまが居るような状況では、他のお子さまのいたずらによる事故の発生に注意して下さい。
- フレームは常に常温の範囲内でご使用下さい。
- フレームが汚れた場合は中性洗剤をご使用下さい。酸性、アルカリ性の洗剤を使用すると変形・変色の恐れがあります。
- 本製品の搭載最大重量は75kg以下(バケット・フォーム本体、手荷物等の積載物を含む)です。75kg以上で使用されますと、本製品が破損する恐れがあります。
- 製品の不断の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄については弊社までお問い合わせ下さい。
- 本書中の図や写真は一部を省略したり抽象化した表現になっているものがあります。
- 本書の内容に関しましては万全を期していますが、万一不審な点や誤り、乱丁、落丁、記載漏れなどに気付いた場合は弊社までご連絡下さい。
- 本製品は改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本書の全部または一部を無断で転載複製することを禁止します。

## 2. 各部の名称



# 3. 仕様

本製品の仕様は下記の通りです。

	Bigフレーム	Smallフレーム
座巾(パイプ含む)	412mm	362mm
前座高	393・413・433 mm	
ホイールベース	580mm	520mm
有効奥行	342mm [背もたれ角により変化]	276mm [背もたれ角により変化]
有効背もたれ高さ	800mm	570mm
グリップ高さ	1075mm [背もたれ角・前座高により変化]	
全長	797mm	738mm
全巾	611mm	560mm
全高	1208mm [背もたれ角・前座高により変化]	
背もたれ角度	95・100・105・110度	
ティルト角度	0～40度	
折りたたみ時 全巾	340mm	325mm
折りたたみ時 全高	640mm	780mm
折りたたみ時 全長	798mm	738mm
重量	約13.5kg	約13.0kg
フレーム材質	超タジュラルミン(7000系アルミ)	
標準フレーム色	ガンメタリック	
主輪	16x1.50inch エアー式(英式バルブ)	
キャスター	6インチ ニューソフトキャスター 合成ゴムタイヤ PPホイール	
フットブレーキ	ブレーキ左右独立構造	
介助ブレーキ	バンドブレーキ	
ティルト機構	メカニカルロック式 0～40度	

注)各寸法は、前座高393mm・チルト角0°・背もたれ角95° の時の寸法です。 注)折りたたみ寸法は、前座393mm・最短全長時の寸法です。

# 4. ご購入後の点検・準備



本製品に破損や異常がないか、ご使用前に必ず各部を点検して下さい。異常を発見した場合は、そのまま使用せず、必ず販売店にご連絡下さい。

## ● 本製品をご使用前にまず下記のチェックを行って下さい。

チェック欄

- (1)各車輪のガタツキはないか.....□
- (2)各部品がゆるみやガタツキがなく取付けられているか.....□
- (3)縫製部分に裂け等の損傷はないか.....□
- (4)マジックテープ®の接着不良はないか.....□
- (5)各部にひび割れや欠け、変形等はないか.....□
- (6)各部のネジやカシメ部分に、ゆるみやガタツキはないか.....□
- (7)ブレーキのききは十分か？メカニカルロックの動きはスムーズか.....□
- (8)その他の異常はないか.....□

# 5. NINFA使用方法

## バケットシート本体をNINFAへ取り付ける方法

- 1 左右のフットブレーキもしくはタッグルブレーキをかけます。

### ⚠ 注意

必ず左右共フットブレーキをかけてから取り付けて下さい。フットブレーキをかけませんと、意図せぬ時に動き出し、怪我をする恐れがあります。



ティルトレバー

- 2 ティルトレバーを握り、ティルト角度を最大まで倒して左右の角度をそろえて下さい。



## バケットシート本体をNINFAへ取り付ける

### ⚠ 注意

介助者はバケットシート本体を取り付け又は外す時に指をはさんだり、ケガをしないよう十分気をつけて行って下さい。

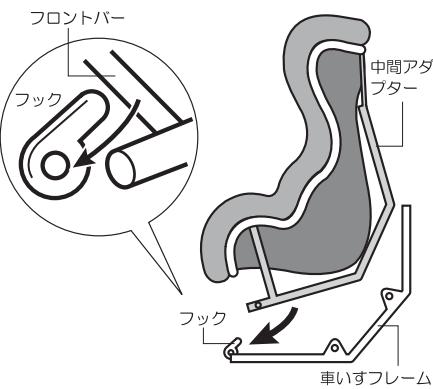
3



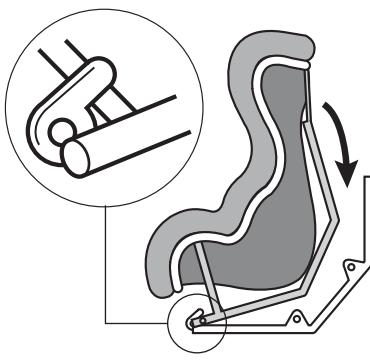
4



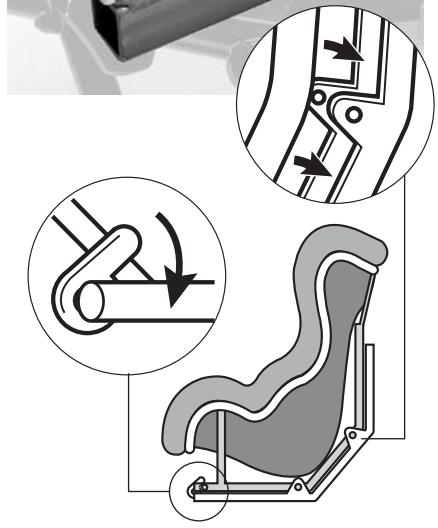
5



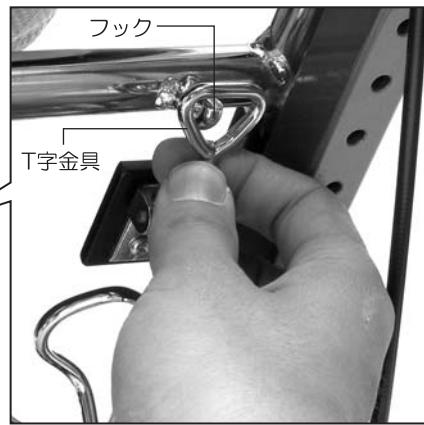
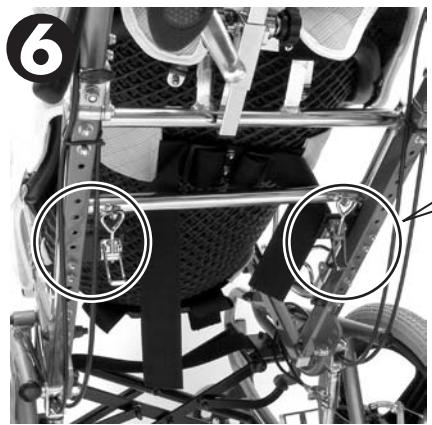
バケットシート本体のフロントバーを車いすフレームのフックに差し込みます。



バケットシート本体を上図のようにフレームのガイドプレートに差し込みます。



バケットシート本体が上図のようにフレームのガイドプレートにしっかりと差し込まれているか確認します。



NINFA背面のT字金具をバケットシート本体のリアフックにかけます。  
(左右共)



T字金具が「パッキン」と音がするまで閉じます。



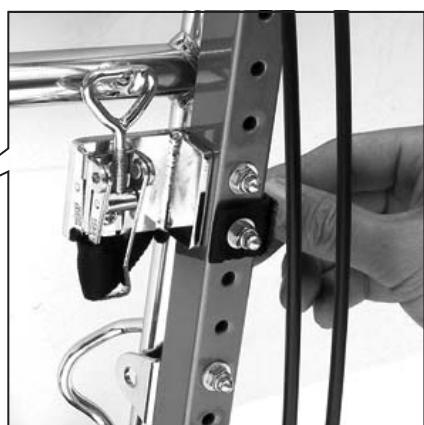
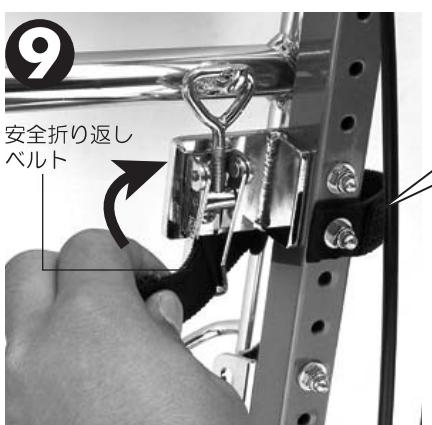
T字金具を閉じた状況です。T字金具の固定力が弱かったり、固定できない場合は右上写真のようにT字金具のつまみを回して固定力を調整して下さい。

## ⚠ 注意

T字金具の固定力が不完全ですと、NINFAからバケットシート本体が外れる場合があり危険です。

(固定力調整方法)

固定できない場合は「**反時計回り**」  
固定力が弱い場合は「**時計回り**」の  
方向へそれぞれ回して調整して下さい。



安全折り返しベルトをT字金具へ固定します。



バケットシート本体が車いすフレームにしっかり固定されたか確認して下さい。

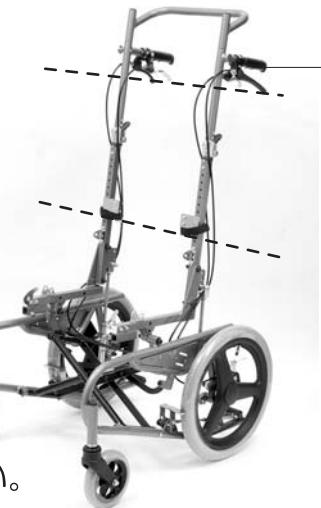
※バケットシート本体をNINFAから外す方法は **1~9**の逆に行って下さい。  
(7~8ページ)

## フォーム本体をNINFAへ取り付ける方法

- 1 左右のフットブレーキをかけます。

### ⚠ 注意

必ず左右共フットブレーキをかけてから取り付けて下さい。フットブレーキをかけませんと、意図せぬ時に動き出し、怪我をする恐れがあります。



ティルトレバー

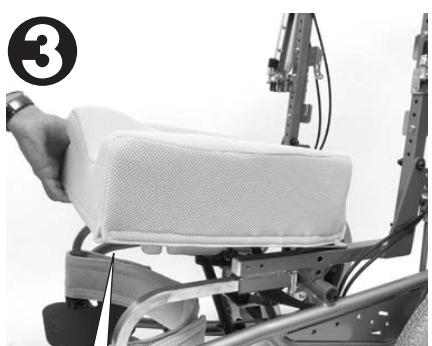
- 2 ティルトレバーを握り、ティルト角度を最大まで起こし左右の角度をそろえて下さい。

## フォーム本体をNINFAへ取り付ける

### ⚠ 注意

介助者はバケットシート本体をNINFAに取り付け又は外す時に指をはさんだり、ケガをしないよう十分気をつけて行って下さい。

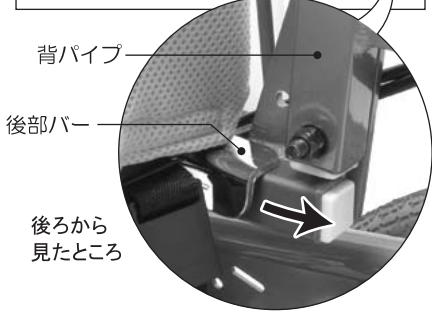
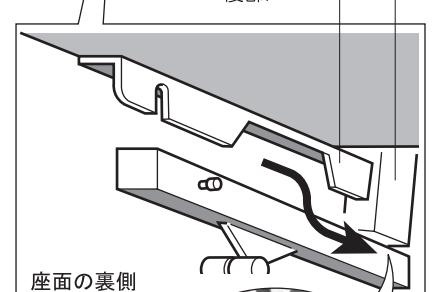
- 3



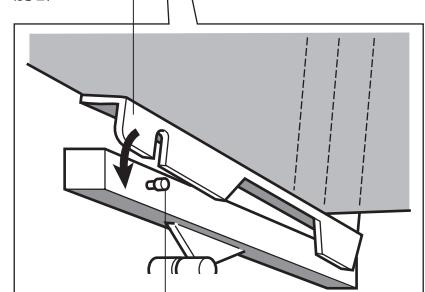
- 4



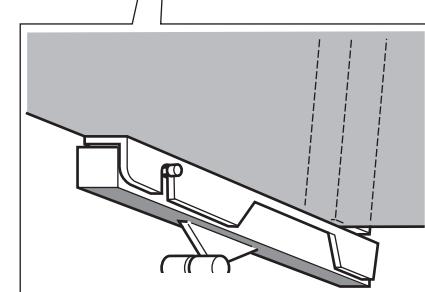
- 5



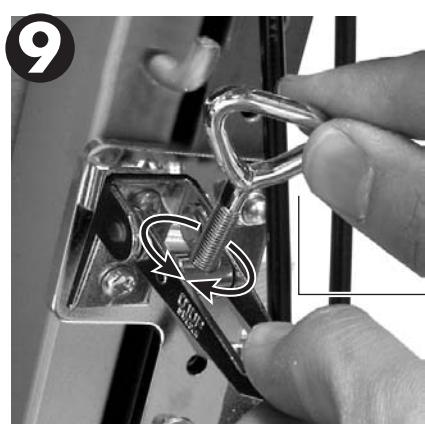
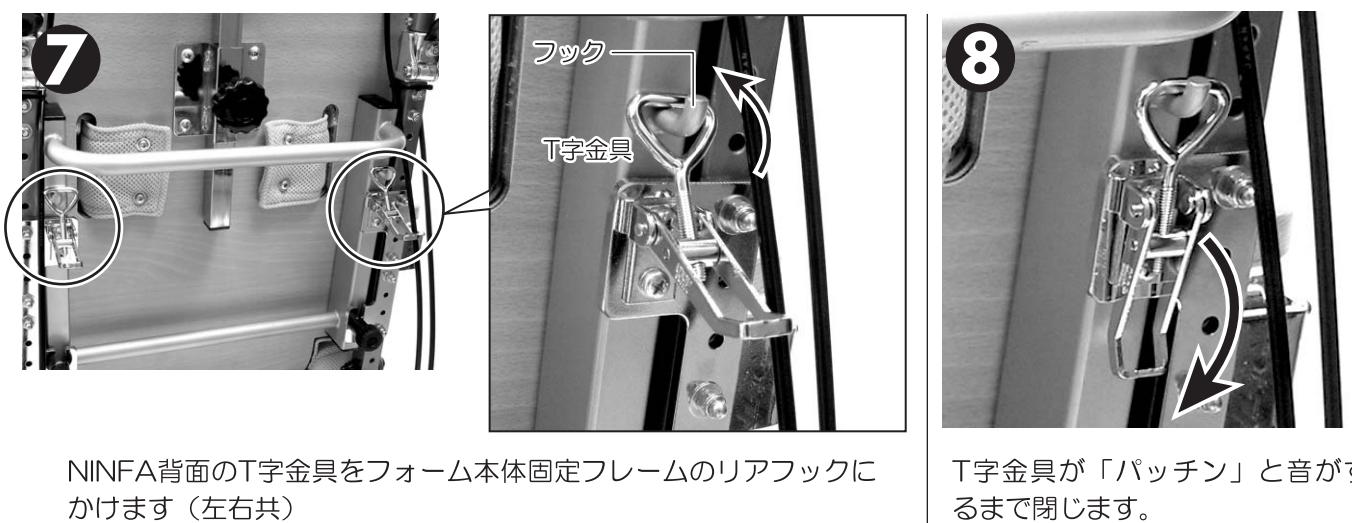
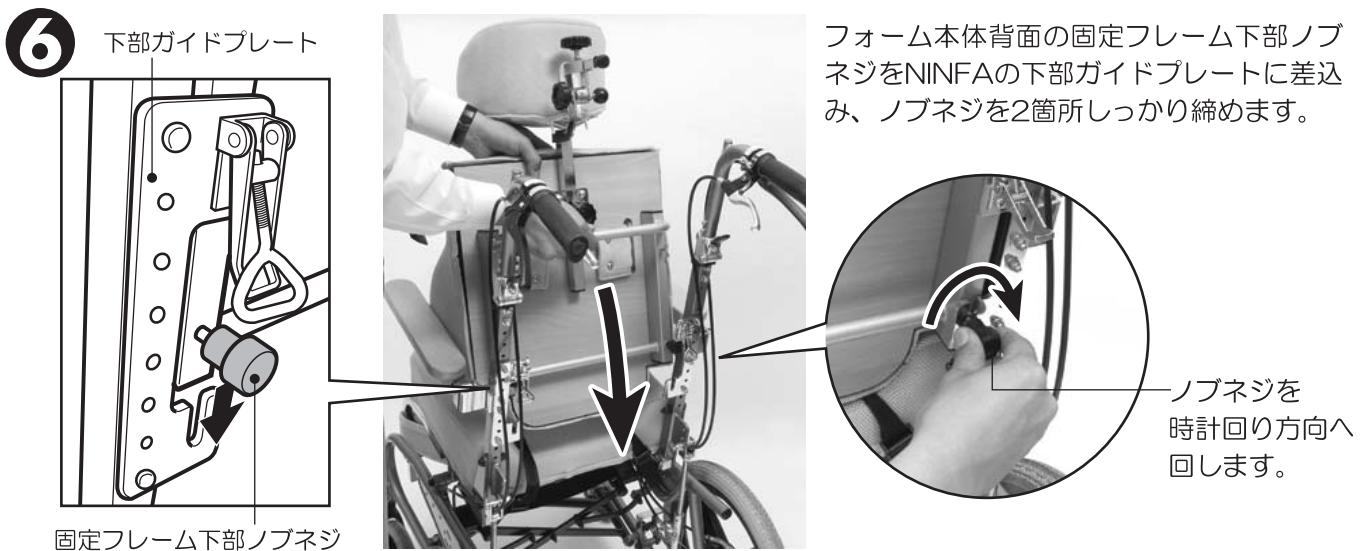
フォーム本体座面の後部バーをNINFAの背パイプ下に差し込みます。



後部バーを差し込んだ後、前部バーをフレーム前方のピンにしっかりとめ込みます。



前部バーがフレーム前方のピンに入った状態です。



## ⚠ 注意

T字金具の固定力が不完全ですと、NINFAからフォーム本体が外れる場合があり危険です。



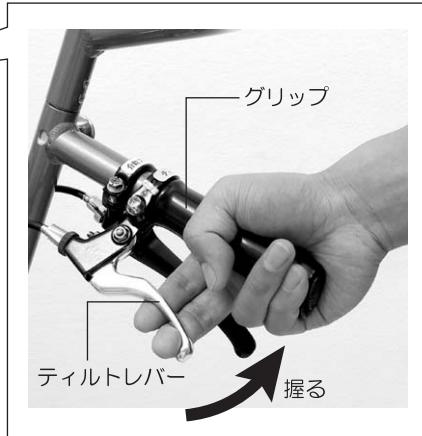
※フォーム本体をNINFAから外す方法は**1~9**の逆に行って下さい。  
(9~10ページ)

## ティルトの操作方法

※下写真はバケットシート本体を装着した場合です

### ！注意

ティルトレバーを握っている間(角度調整している間)は、手押しハンドルをしっかり持って下さい。誤って後ろへ転倒する恐れがあります。



グリップをしっかり持ちながら、ティルトレバーを両方握ります。

ティルトレバーを握りながら角度を調整します。角度調整後、ティルトレバーを離すと角度が固定されます。

## ブレーキのかけ方

### 介助ブレーキの場合

### ！警告

急ブレーキをかけないで下さい。  
落下・転倒事故をおこす恐れがあります。

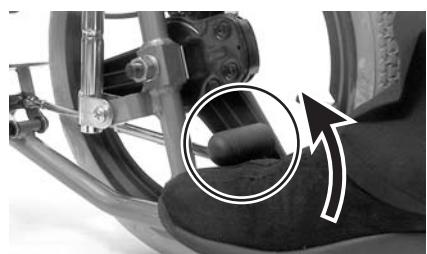
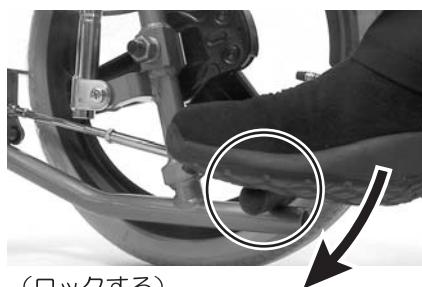


グリップを持ちながらブレーキレバーを握ります。握っている間は主輪にブレーキがかかります。

### ！警告

移動している時以外は必ず左右共フットブレーキやタッグルブレーキをロックさせて下さい。ロックさせていないと意図せぬ時にNINFA本体が動き出す恐れがあります。

### フットブレーキの場合



### タッグルブレーキの場合



## NINFAの折りたたみ方



注意 NINFAを折りたたむ時に指をはさんだり、  
ケガをしないよう十分気をつけて行って下さい。

1

固定つまみ



延長バーの固定つまみを引いて時計回りの方向へ回し、溝から外します。



固定時

固定を外した時

2

延長バー



延長バーを引き抜きます。

3



Xパイプの上のベルトを持ち上げます。

4



左右のティルトレバーを握りながら（左右共）背もたれ部を一番後ろまで下げます。

5

背折れジョイントの  
レバーを下ろす



左右の背もたれの背折れジョイントを下げる、背もたれ部を後ろへ折りたたみます。

6



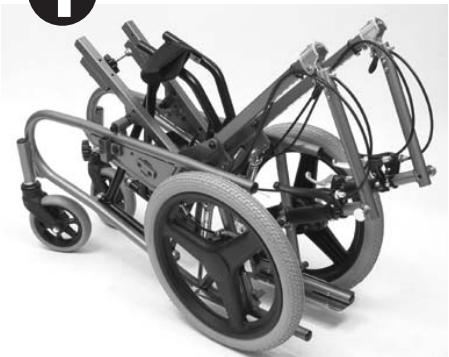
折りたたみが完了した状態です。

## NINFAの開き方

### ！注意

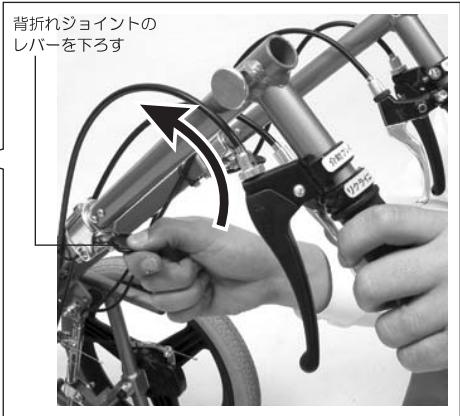
NINFAを開く時に指をはさんだり、  
ケガをしないよう十分気をつけて行って下さい。

1



折りたたんだ状態です。今から開きます。

2



背もたれの背折れジョイントを左右共上げ、背もたれ部を起こします。この時、背折れジョイントのピンが奥まで入っているか確認して下さい。

3



左右のティルトレバーを握りながら（左右共）背もたれ部を最も起きた状態にします。

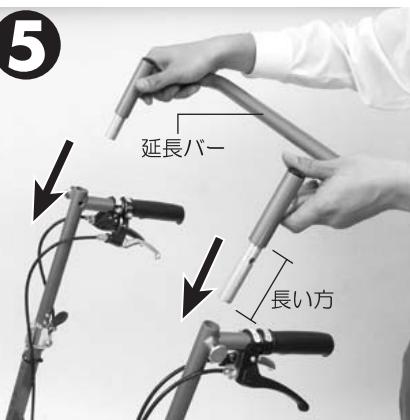
4



開き終わった  
状態です。



5



延長バーを差し込みます。この時、長い方を先に入れて平行に差し込みます。

6



延長バーの固定つまみを引いて時計回りの方向へ回し、溝にはめ込みます。



## 段差での走行方法

※イラストはフォーム本体を装着した場合です。



グリップを下に引く動作と、ティッピングレバーを踏む動作は必ず同時にに行って下さい。どちらが一方のみの動作の場合、キャスターが持ち上がりなかつたり車いすフレームが破損する恐れがあります。

1

キャスターが段差の直前になるような位置で停車します。



2

グリップを手前に引きながら同時にティッピングレバーの左右どちらかを足で踏んでキャスターを持ち上げて下さい。



3

キャスターを持ち上げながら主輪だけで段差の所まで移動して下さい。



4

グリップを持って車いすフレームを持ち上げ、段差を乗り越えて下さい。

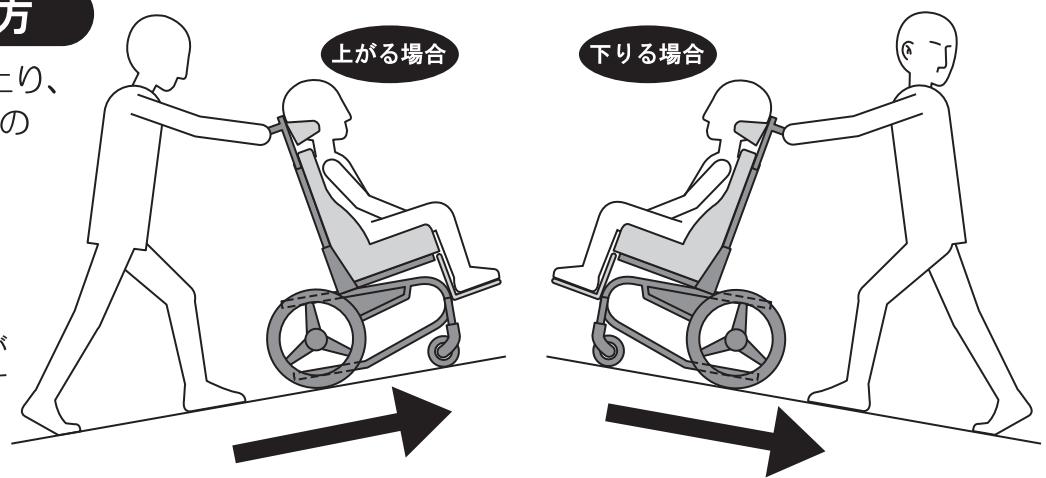


## 坂道での押し方

※坂道では、前進で上り、後ろ向きで下りるのが基本です。



坂道を前進で下ると乗車者が前方へ転落したり、前方へすべったりして大変危険です。

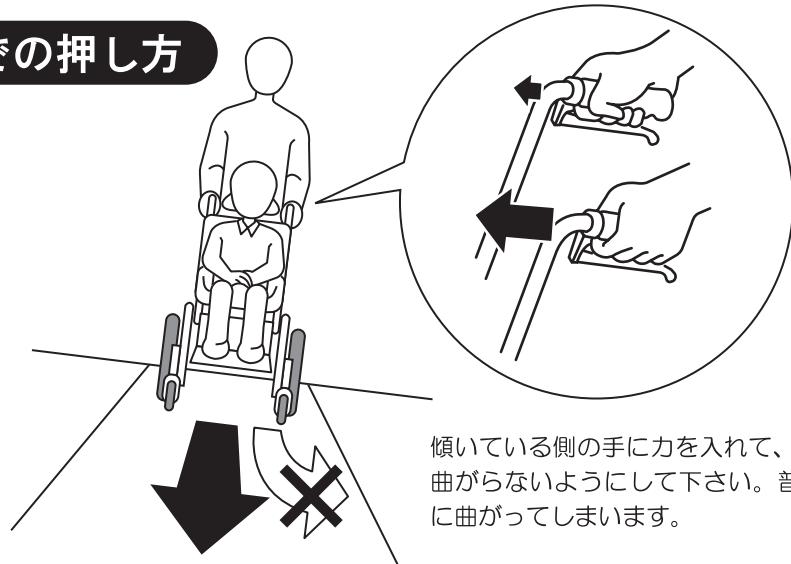


上がる時は前進で

- 14 -

下りる時は後ろ向きで

## 傾いた道での押し方



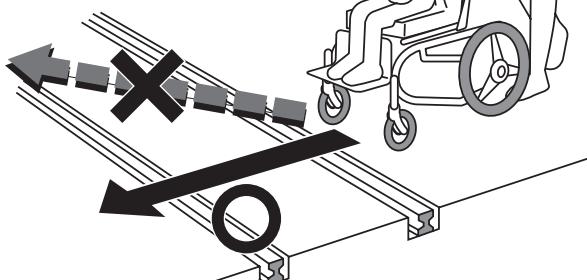
傾いている側の手に力を入れて、NINFAが道の低い方に曲がらないようにして下さい。普通の押し方では低い方に曲がってしまいます。

## 溝越え



### 警告

交差点や踏切では特に注意して下さい。



キャスターや主輪の幅や直径よりも広い溝や踏切等を通過する時は、溝に対して直角になる角度で進入して下さい。直角でない場合、キャスターや主輪が溝から抜けなくなる恐れがあり、大変危険です。



## 階段の上り下り



●必ず4名以上の方で車いすフレームを持って下さい。階段から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。

●左写真に示す部分以外は持たないで下さい。持ち上げた際に車いすフレームが破損して階段から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。

左写真の矢印部分を持って4名以上の方で階段を上り下りして下さい。

# 6. 日常のお手入れ・保管方法

---

誤ったお手入れをしますと故障の原因になります。異常を発見された場合はそのまま使用せず、弊社まで修理依頼を申し出て下さい。

## ●日常のお手入れは、乾いたやわらかい布で乾拭きして下さい。

汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取り、硬くしぼった布で洗剤が残らないように拭き取った後、やわらかい布で乾拭きして下さい。

## ●使用前に以下の点検を行って下さい。

- ・キャスターのガタツキはないか？
- ・各部品がゆるみやガタツキがなく取付けられているか？
- ・各ベルト類に損傷や裂け等はないか？
- ・縫製部分のほつれはないか？
- ・マジックテープ®の接着不良はないか？
- ・各部にひび割れや欠け、変形等はないか？
- ・各部のネジやカシメ部分に、ゆるみやガタツキはないか？
- ・各調整ノブは締まっているか？
- ・バケット・フォーム本体のカバーが破れていないか？
- ・バケット・フォーム本体とNINFAが固定できるか？
- ・フットブレーキ・介助ブレーキの効きは十分か？
- ・主輪およびキャスターの点検

空気は入っているか？（適正な空気圧： 2.5 kgf/cm<sup>2</sup>）

パンクしていないか？

異物がささっていないか？

溝はあるか？

大きなひずみや損傷はないか？

空気バルブがゆるんでいないか？

大きなガタツキがなくスムーズに回転するか？

- ・その他の異常はないか？

## ●保存方法

- ・常温の範囲内で保管して下さい。長時間高温の場所に放置しますと、変色や変形をする恐れがあります。变形した製品は使用しないで下さい。
- ・本取扱説明書は本製品と共に保管し、紛失しないようにして下さい。
- ・本取扱説明書を紛失または損傷した場合はすみやかに弊社までご連絡下さい。
- ・水分や直射日光などをさけ、日陰で保管して下さい。

# 7. 廃棄方法

---

各自治体の指示に従い、廃棄処分して下さい。

(主材料)

NINFA本体	超々ジュラルミン
主輪	合成ゴム
キャスター	合成ゴム

# 8. 保証書



## 保 証 書

本製品は、弊社の品質管理・検査のもとに皆様のお手元にお届けしておりますが、万一故障した場合には保証規定にもとづき、無料修理します。その際は現品に本保証書を添えて弊社までご提出下さい。

品 名	NINFA(ニンファ)		
ご購入年月日	年	月	日
お客様	お名前		
	ご住所	〒	
	TEL		

※ご購入年月日、お客様名、販売店名の欄に記入のない場合は無効となります。

必ず記入の有無をご確認下さい。記入がない場合は、直ちに弊社までお申し出下さい。

※本書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

※この保証書は本書および保証規定に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するもので、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間が過ぎた後の修理等についてのご不明の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

※保証規定は次頁をごらん下さい。

川村義肢株式会社

本社／〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1

## 保証規定

- (1) 保証期間はご購入の日から1年間です。保証期間内に発生した故障については無料修理いたします。
- (2) 保証の対象となる部分はこの商品一式です。ただし、タイヤの摩耗、パンク、シート類の破れ、ブレーキ、リクライニング用ワイヤー、マジックテープ®、各消耗品、各部の劣化による故障、損傷は除きます。
- (3) 無料修理には保証書の提出を要します。
- (4) 次の場合には保証できませんが、特にご希望の方には実費にて修理いたします。
- ・保証書を紛失された場合。
  - ・誤ったご使用方法、あるいは誤った修理・改造による故障・損傷。
  - ・火災、地震等の天災地変による故障・損傷。
  - ・保証書にご購入日、販売店名、お客様名の記入のない場合、または不当変更を加えられた場合。
  - ・ご購入後の輸送・移動・落下等による故障・損傷。
- (5) ご相談窓口は弊社にて承ります。
- (6) 保証書の保証対象とならない故障および損傷についても弊社の責任に帰する場合は、保証期間に関わらず無料修理いたします。
- (7) その他
- ・保証書は日本国内においてのみ有効です。
  - ・本書の再発行はいたしません。



# 川村義肢株式会社

本社(営業本部)	〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1 TEL 072(875)8020 FAX 072(875)8041
本店サービス部	〒530-0041 大阪市北区天神橋1-18-18 TEL 06(6352)1012 FAX 06(6352)1018
ほ 一 ぶ	〒536-0023 大阪市城東区東中浜1-6-5 TEL 06(6965)6100 FAX 06(6962)5963
大阪南営業所	〒593-8325 大阪府堺市鳳南町4-434 TEL 072(260)0133 FAX 072(260)0134
兵庫営業所	〒664-0842 兵庫県伊丹市森本2-268-2 TEL 072(780)1645 FAX 072(780)1646
京都営業所	〒612-8248 京都府京都市伏見区下鳥羽上三栖町29 TEL 075(604)1551 FAX 075(604)1552
奈良営業所	〒636-0343 奈良県磯城郡田原本町大字秦庄432-15 TEL 07443(2)8891 FAX 07443(2)8894
滋賀営業所	〒524-0014 滋賀県守山市石田町240-13 TEL 077(585)8861 FAX 077(585)8857
和歌山営業所	〒640-8241 和歌山市雜賀屋町東ノ丁21-3 県庁前玉置ビル1F TEL 073(432)0685 FAX 073(432)0686
東京営業所	〒359-1142 埼玉県所沢市上新井760-1 TEL 04(2922)8188 FAX 04(2922)8177
山梨営業所	〒406-0024 山梨県笛吹市石和町川中島188 TEL 055(262)9630 FAX 055(262)0787
千葉営業所	〒270-2215 千葉県松戸市串崎南町134 TEL 047(389)7271 FAX 047(389)7982
新宿出張所	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-10-6 SETOビル2F TEL 03(3352)2301 FAX 03(3352)2302
げんきセンター	〒578-0903 大阪府東大阪市今米2-4-32 TEL 0729(68)0130 FAX 0729(68)0140

---

<http://www.kawamura-gishi.co.jp/>